



通巻 125 号豊科郷土博物館友の会報

令和4年7月12日発行

\*当館ホームページにカラーで掲載しています。是非ご覧下さい。



## 安曇野市平和都市宣言10周年に想う

友の会会長 百瀬 新治

今年は安曇野市の平和都市宣言をして節目の10周年となります。皮肉な事ですが、平和とはかけ離れたウクライナ等の状況を横目に、せっかくの宣言が実現できない現実を悔しく思います。とりわけ、子どもや女性・お年寄りなど弱い立場の人たちの悲惨な被害を防ぐ手立ては無いのか考える日々です。

私たち豊科郷土博物館友の会戦時生活部では、宣言10周年を記念しての展示『安曇野にも戦争があった！』を催し「満蒙開拓の夢から日中友好の架け橋へ」とする展示を中心に計画しています。旧南安曇郡堀金村出身で満蒙開拓を志した内田辰男さんの実体験をもとに、一人の若者が戦争に巻き込まれていく姿や命を救われた中国の人たちとの交流の実際を展示し、一般国

民に及ぶ厳しい戦時体験や国や人が友好的に共存していく大切さを多くの市民の方に理解いただけるよう願っています。郷土博物館でも同時期に企画展『安曇野の戦争—郷土から戦場へ—』が開催されます。今年の夏は、郷土博物館と友の会が連携して、戦争と平和をテーマとする展覧会が実施されるのです。

戦乱を防ぎ平和な世の中を実現する基本的な要件は、体験は無くても戦時下の状況を推し測れる想像力と、他者の痛みを思い遣り互いの尊厳を認め合える心の広さと思っています。会員のみなさん多数がこの夏の二つの催しに足を運んでいただき戦争と平和について見返すとともに、友の会での小さな生命や周りへの心遣いも平和につながる確信を共有し合いましょう。

### 【参考】



「安曇野市平和都市宣言」  
雄大な北アルプスの麓 清らかな水  
緑かがやく 自然豊かな安曇野を  
私たちは守っていきます  
健康で幸せな生活のために  
みんなで支え合い 差別のない社会を  
私たちは築いていきます  
みんなの笑顔が 子どもたちの明るい未来が  
いきいきとした命の営みが続くことを  
私たちは求めています  
平和を願う人々と手を取り合って  
全ての不安や争いをなくすために  
私たちは行動します  
私たちは 美しい故郷 安曇野から  
平和な社会の実現に向け  
ここに「平和都市」を宣言します

# 第1回役員会・総会

4月15日（金）、第1回役員会・総会が無事に開催できたことに感謝いたします。感染症対策をとりながら開催し、令和3年度事業報告・会計報告がなされました。その後、令和3年度会計決算及び令和4年度会計予算が議決されました。



## 役員紹介

今年度の役員の皆様です。お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

会長	百瀬 新治	会計監査	隼田 和子
副会長	浅川 五子	会計監査	佐々木 泉
副会長	志村 昌之	顧問	片桐 宣利
会計	古川 幸男	会計	窪田 尚幸

## 各部正副部長

部 名	部 長	副部長	副部長
書道部	千野 秀濤	隼田 和子	
絵手紙部	高橋 久子	小淵 英子	
着物リメイク部	初谷 大子	笠原 せい子	
植物画部	稲葉 かほる	浅川 湖ふみ	
山草部	古幡 正夫	村田 資子	澤柳 まき子
写真部	藤松 義躬	矢口 高志	
戦時生活部	臼井 泰彦	藤原 恵正	
自然と暮らしの文化部	宮澤 紀美子	—	
植物調査部	新倉 美智子	—	
郷土史部	古川 幸男	—	
タカラさがし部	千村 裕一	藤松 慎一郎	北原 勉



## 友の会活動

### ◆「第38回 山草・サクラソウ展」令和4年5月3日（火）～5月5日（木）



「山野草・サクラソウ展」を今年度も無事に開催することができました。会員の皆様が丹精込めて育てた山草・サクラソウ100点以上が見事に可憐な花々を咲かせており、多くの来館者の目を楽しませてくれました。市民タイムスの取材が記事として出たこともあり、遠方からわざわざご覧になられた方々もたくさんおられました。



◆「第17回ポタニカルアート展・第36回写真展」令和4年6月4日（土）～6月19日（日）

ポタニカルアート（植物学的で芸術性も合わせ持つ絵画）35点が展示され、丹精込めて描かれた鮮やかで繊細な表現に心を打たれました。

安曇野や県内外の風景や季節を捉えた写真、貴重な記録となりそうな作品など22点が出品され、地域や命の美しさを再認識できました。



◆昨年度に引き続き、自然と暮らしの文化部など友の会の皆さんによる学校ボランティア  
～穂高西小学校3年生「クララ染」への協力～ 令和4年6月7日（火）～9日（木）

穂高西小学校からの依頼を受けて、市の天然記念物に指定されたオオルリシジミ、その食草であるクララを使った草木染めを行いました。友の会の皆さんのご協力のおかげで、有意義な体験ができました。爽やかな黄色の絞り染めに子どもたちも大喜び。蝶と植物と人の暮らしの関係を学ぶ学習に発展できそうです。



◆6/19 友の会 1 回目の美化活動ありがとうございました！

2 回目は、 7 月 3 0 日（土）8：00～9：00 です。 <少雨決行>

**持ち物：飲み物等暑さ対策、草取り・剪定用具**

\*1 回目は、今までに最多の大人 31 名、子ども 5 名、計 36 名の参加がありました。

2 回目も館外の草取りや垣根の剪定を予定しています。友の会の大切な博物館のサポーター活動として実施します。ご都合のつく方は、是非ご参加ください。中止の場合は各部長に連絡します。

◆今後の友の会展覧会予定（戦時生活展は、「みらい」でR1に実施し、R4にも開催する展覧会も含めて第8回とします）

展 覧 会 名	会 期
第 19 回友の会絵手紙展	11 月 12 日（土）～11 月 27 日（日）
第 8 回戦時生活展	11 月 12 日（土）～11 月 27 日（日）
第 68 回友の会新春書芸展	令和 5 年 1 月 14 日（土）～1 月 29 日（日）
第 4 回着物リメイク展	令和 5 年 1 月 14 日（土）～1 月 29 日（日）

# 企画展「安曇野の戦争」を企画するにあたって

博物館長 原 明芳

今年は、「安曇野市平和都市宣言10周年」を制定して10周年を迎えます。戦時生活部会のみなさんは、それを記念して8月2日～7日に、穂高交流学習センターみらいで「安曇野にも戦争があった！」を開催し、満州開拓資料などを展示します。博物館も、「安曇野の戦争 ー郷土から戦場へー」（7月23日～9月19日）を開催します。

私の専門とするのは考古学、戦争とは縁遠いように思われがちです。今から20年ほど前、小学校に勤務していたときのこと、学校の敷地がかつて陸軍飛行場であったため、教室の窓から格納庫のコンクリートの基礎部分を見ることができました。時間を見つけて、実際に周辺を歩き回ったり、情報を求めたりして調査をしました。これが私の戦争、戦争遺跡との関わりの始まりでした。戦争について勉強をしていくと、先の大戦での戦没者は310万人にのぼること、それも正確な数字でもないことがわかりました。その数字は、私が専門としている平安時代の人口の600万人、そのほぼ半分にものぼることを知ったのです。日本の歴史上、最大の出来事といっても過言ではありません。ところが、私が専門としている考古学は、積極的にこの戦争を研究対象にしようとしていません。そこでせめてと思って取り組んだのが、戦争遺跡、陸軍飛行場、陸軍墓地、戦争に関連した碑などでした。

今回は、安曇野市域から兵士となって戦場に向かい亡くなった人々を取り上げます。明治以来、戦死者は1836名にのぼります。その死を、「戦争」の一言で、まして「名誉の戦死」で片付けることはできません。一人一人がどのように兵士となって、戦場に向かい、そして死亡し、還ってきたのか、明らかにしなければなりません。このように一人一人の、真実を知ることこそが、平和を考えるうえで重要だと思います。

## 令和4年度 博物館展覧会スケジュール (予定)

夏季企画展 安曇野市平和都市宣言10周年記念

**安曇野の戦争 ～郷土から戦場へ～**

**令和4年7月23日(金)～9月19日(月)**



返還日章旗(当館蔵)

◆安曇野の人々が、どのように兵士となって戦場に向かい、そしてだれが、いつ、どこで命を落としたか。さらにかれらの死をどう扱ったのか。その一端を展示します。

★講座 会場：2階学習室 講師：館長 原明芳 【要申込】

①7/23(土)13:30～「穂高・有明空襲～米軍資料から考える～」 受付開始 7/13(水)9時

②8/27(土)13:30～「戦死者を祀る～郷土は戦死者をどう扱ったか～」 受付開始 8/17(水)9時

③9/17(土)13:30～「太平洋戦争末期の松本平への陸軍航空部隊の展開」 受付開始 9/7(水)9時

★ギャラリートーク 講師：館長 原明芳 【申込不要】

①7/31(日) ②8/21(日) ③9/18(日) \*いずれも10時と14時から40分程度

★満願寺への世田谷区太子堂小学校の疎開記録「太子堂物語」上映会 【申込不要】

8/11(木・海の日) ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～ 会場：2階学習室

\*各イベントとも、詳細は豊科郷土博物館にお問い合わせください。TEL 72-5672